通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
－イーグルアイⅡ－
予想分配金提示型
日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）

第28期（決算日　2020年８月28日）
第29期（決算日　2020年11月30日）
（作成対象期間　2020年５月29日～2020年11月30日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年８月20日～2023年８月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」（以下「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※１）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・レアル・コース」の場合……ブラジル・レアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ．およびロ．に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ．計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ．計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。 ａ．10,500円以上11,000円未満の場合…300円 ｂ．11,000円以上11,500円未満の場合…350円 ｃ．11,500円以上12,000円未満の場合…400円 ｄ．12,000円以上12,500円未満の場合…450円 ｅ．12,500円以上の場合…………………500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

◇SUZ0577020201130◇

受益者のみなさまへ

　毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

　当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

　今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

日本円・コース

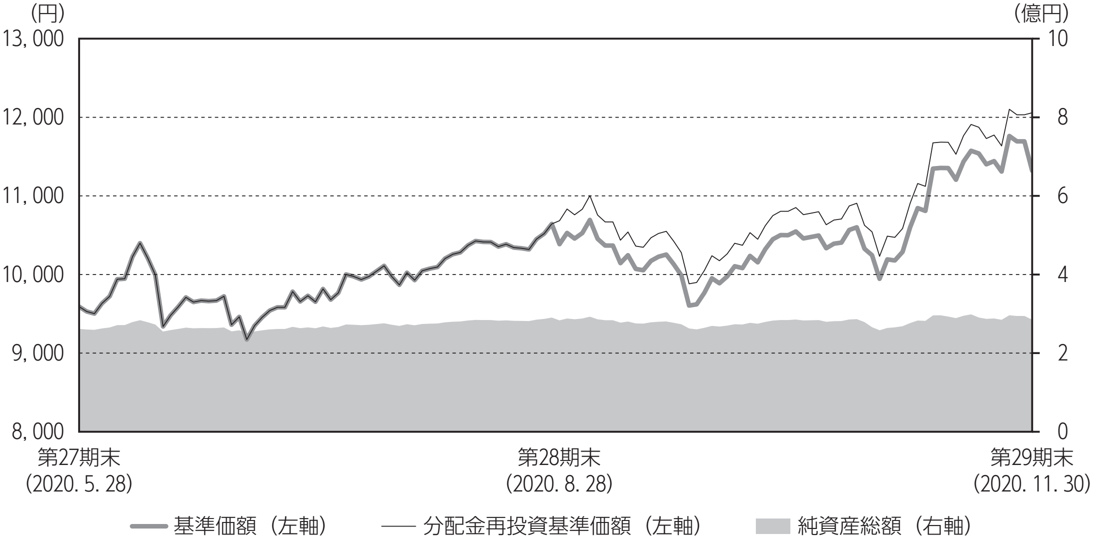
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
20期末（2018年8月28日）	10,512	300	5.5	17,598	6.4	—	97.9	423
21期末（2018年11月28日）	9,426	0	△10.3	16,294	△7.4	—	98.7	365
22期末（2019年2月28日）	10,127	0	7.4	16,964	4.1	—	95.5	381
23期末（2019年5月28日）	9,849	0	△2.7	17,169	1.2	—	94.9	328
24期末（2019年8月28日）	9,640	0	△2.1	17,430	1.5	—	95.4	311
25期末（2019年11月28日）	10,481	300	11.8	19,159	9.9	—	94.1	318
26期末（2020年2月28日）	9,862	0	△5.9	18,096	△5.5	—	93.7	275
27期末（2020年5月28日）	9,592	0	△2.7	18,445	1.9	—	98.0	261
28期末（2020年8月28日）	10,385	300	11.4	21,169	14.8	—	98.9	283
29期末（2020年11月30日）	11,320	400	12.9	22,103	4.4	—	98.0	285

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：　9,592円
第29期末：11,320円（既払分配金700円）
騰 落 率：25.7％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　　月　　日	基　準　価　額		S＆P500指数(米ドルベース)		公 社 債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰　落　率	(参考指数)	騰　落　率		
		円	%		%	%	%
第28期	(期首)2020年5月28日	9,592	—	18,445	—	—	98.0
	5月末	9,530	△　0.6	18,406	△　0.2	—	98.0
	6月末	9,348	△　2.5	18,549	0.6	—	98.1
	7月末	9,927	3.5	19,721	6.9	—	98.3
	(期末)2020年8月28日	10,685	11.4	21,169	14.8	—	98.9
第29期	(期首)2020年8月28日	10,385	—	21,169	—	—	98.9
	8月末	10,529	1.4	21,312	0.7	—	98.6
	9月末	9,889	△　4.8	20,263	△　4.3	—	98.6
	10月末	10,193	△　1.8	20,109	△　5.0	—	99.0
	(期末)2020年11月30日	11,720	12.9	22,103	4.4	—	98.0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について
（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■米国株式市況
米国株式市況は上昇しました。

　米国株式市況は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったことや、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■短期金利市況
日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利はマイナス圏で推移しました。
米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド
　今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）
　ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

　当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

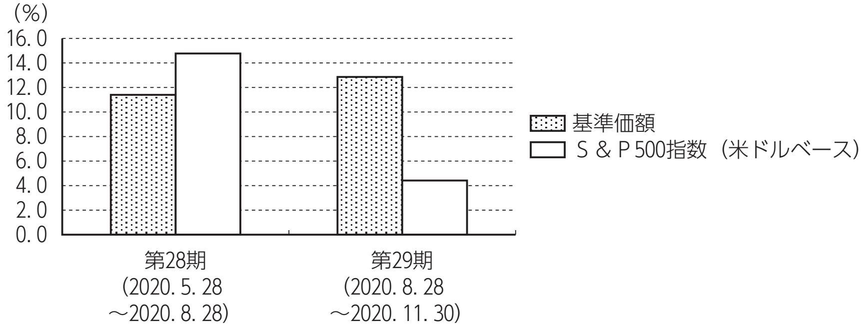
　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			第28期 2020年５月29日 ～2020年８月28日	第29期 2020年８月29日 ～2020年11月30日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**300**	**400**
	対基準価額比率	(%)	2.81	3.41
	当期の収益	(円)	206	400
	当期の収益以外	(円)	93	—
翌期繰越分配対象額		(円)	568	1,504

(注１)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注２) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注３) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 14.08円	✓ 15.87円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 192.10	✓ 1,320.42
（c）収益調整金	251.40	254.63
（d）分配準備積立金	✓ 410.90	313.86
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	868.49	1,904.80
（f）分配金	300.00	400.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	568.49	1,504.80

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

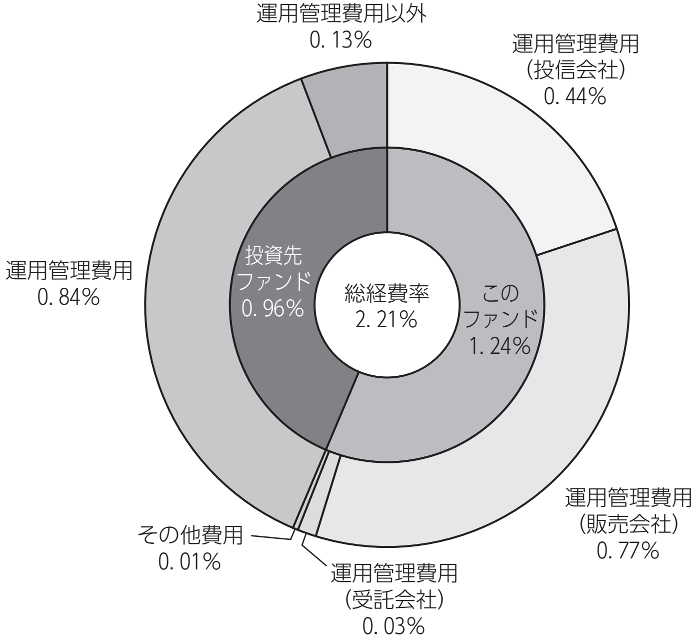
項　目	第28期～第29期 (2020. 5. 29～2020. 11. 30)		項目の概要
	金　額	比　率	
信託報酬	65円	0.630%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,237円です。**
(投信会社)	(23)	(0.224)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(40)	(0.392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	65	0.635	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.21％
①このファンドの費用の比率	1.24％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13％

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年５月29日から2020年11月30日まで)

決算期	第28期～第29期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	4.87075	809	256.54995	43,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年５月29日から2020年11月30日まで)

第28期～第29期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	256.54995	43,000	167

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	1,547.12362	279,425	98.0

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第27期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	279,425	94.4
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0.1
コール・ローン等、その他	16,305	5.5
投資信託財産総額	296,031	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年８月28日）、（2020年11月30日）現在

項　　　目	第28期末	第29期末
（A）資産	**292,371,752円**	**296,031,741円**
コール・ローン等	11,896,265	16,305,171
投資信託受益証券（評価額）	280,174,854	279,425,997
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300,633	300,573
（B）負債	**9,033,616**	**10,978,447**
未払収益分配金	8,185,287	10,072,943
未払信託報酬	842,757	894,018
その他未払費用	5,572	11,486
（C）純資産総額（A－B）	**283,338,136**	**285,053,294**
元本	272,842,927	251,823,580
次期繰越損益金	10,495,209	33,229,714
（D）受益権総口数	**272,842,927口**	**251,823,580口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10,385円**	**11,320円**

＊第27期末における元本額は272,836,900円、当作成期間（第28期～第29期）中における追加設定元本額は2,795,215円、同解約元本額は23,808,535円です。
＊第29期末の計算口数当りの純資産額は11,320円です。

■損益の状況

第28期　自 2020年５月29日　至 2020年８月28日
第29期　自 2020年８月29日　至 2020年11月30日

項　　　目	第28期	第29期
（A）配当等収益	**395,202円**	**410,580円**
受取配当金	395,736	411,003
受取利息	26	33
支払利息	△ 560	△ 456
（B）有価証券売買損益	**30,264,340**	**34,140,734**
売買益	30,264,368	35,393,329
売買損	△ 28	△ 1,252,595
（C）信託報酬等	**△ 848,371**	**△ 899,953**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**29,811,171**	**33,651,361**
（E）前期繰越損益金	**△ 12,974,276**	**7,903,857**
（F）追加信託差損益金	**1,843,601**	**1,747,439**
（配当等相当額）	（ 6,859,467）	（ 6,412,225）
（売買損益相当額）	（△ 5,015,866）	（△ 4,664,786）
（G）合計（D＋E＋F）	**18,680,496**	**43,302,657**
（H）収益分配金	**△ 8,185,287**	**△ 10,072,943**
次期繰越損益金（G＋H）	**10,495,209**	**33,229,714**
追加信託差損益金	1,843,601	1,747,439
（配当等相当額）	（ 6,859,467）	（ 6,412,225）
（売買損益相当額）	（△ 5,015,866）	（△ 4,664,786）
分配準備積立金	8,651,608	31,482,275

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	384,235円	399,852円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	5,241,368	33,251,509
（c）収益調整金	6,859,467	6,412,225
（d）分配準備積立金	11,211,292	7,903,857
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	23,696,362	47,967,443
（f）分配金	8,185,287	10,072,943
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	15,511,075	37,894,500
（h）受益権総口数	272,842,927口	251,823,580口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ		
１　万　口　当　り　分　配　金	第28期	第29期
	300円	400円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース

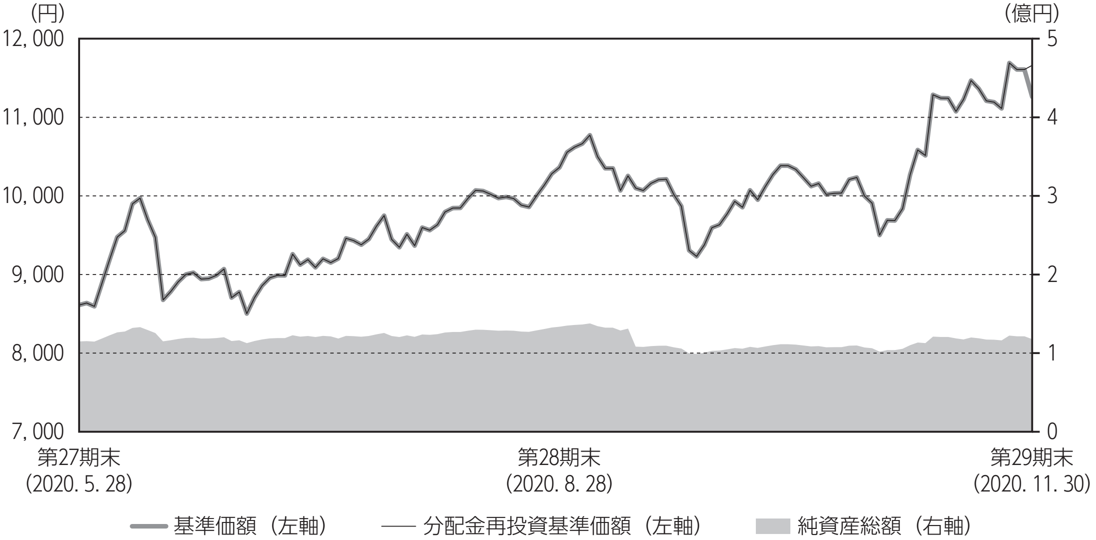
最近10期の運用実績

決　算　期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
20期末（2018年8月28日）	10,522	0	4.7	17,598	6.4	81.75	△1.3	―	96.0	265
21期末（2018年11月28日）	9,542	0	△9.3	16,294	△7.4	82.26	0.6	―	98.7	242
22期末（2019年2月28日）	9,930	0	4.1	16,964	4.1	79.34	△3.5	―	99.0	249
23期末（2019年5月28日）	9,260	0	△6.7	17,169	1.2	75.88	△4.4	―	95.6	203
24期末（2019年8月28日）	8,601	0	△7.1	17,430	1.5	71.38	△5.9	―	98.5	144
25期末（2019年11月28日）	9,985	0	16.1	19,159	9.9	74.00	3.7	―	95.4	145
26期末（2020年2月28日）	9,160	0	△8.3	18,096	△5.5	71.94	△2.8	―	94.2	121
27期末（2020年5月28日）	8,612	0	△6.0	18,445	1.9	71.54	△0.6	―	99.0	114
28期末（2020年8月28日）	10,362	0	20.3	21,169	14.8	77.44	8.2	―	95.8	133
29期末（2020年11月30日）	11,261	400	12.5	22,103	4.4	76.91	△0.7	―	98.4	117

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注７）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：　8,612円
第29期末：11,261円（既払分配金400円）
騰 落 率：35.4％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

　米国株式市況が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第28期	（期首）2020年5月28日	8,612	－	18,445	－	71.54	－	－	99.0
	5月末	8,638	0.3	18,406	△0.2	71.35	△0.3	－	99.1
	6月末	8,706	1.1	18,549	0.6	73.88	3.3	－	98.2
	7月末	9,367	8.8	19,721	6.9	75.37	5.4	－	98.6
	（期末）2020年8月28日	10,362	20.3	21,169	14.8	77.44	8.2	－	95.8
第29期	（期首）2020年8月28日	10,362	－	21,169	－	77.44	－	－	95.8
	8月末	10,556	1.9	21,312	0.7	77.50	0.1	－	98.9
	9月末	9,634	△7.0	20,263	△4.3	75.49	△2.5	－	98.9
	10月末	9,690	△6.5	20,109	△5.0	73.57	△5.0	－	99.0
	（期末）2020年11月30日	11,661	12.5	22,103	4.4	76.91	△0.7	－	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

　米国株式市況は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったことや、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

　豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待やオーストラリア経済が相対的に健全であること、商品価格の上昇などを背景に、堅調に推移しました。その後は、経済指標の下振れやＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が追加利下げの可能性を示唆したことを受けて豪ドルは軟調に推移したものの、11月以降はワクチン早期開発期待によってリスク選好機運が高まり、豪ドルは対円で上昇しました。

■短期金利市況

ＲＢＡは、政策金利を0. 25％から0. 10％に引き下げました。
米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

　今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

　※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

　ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

　当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

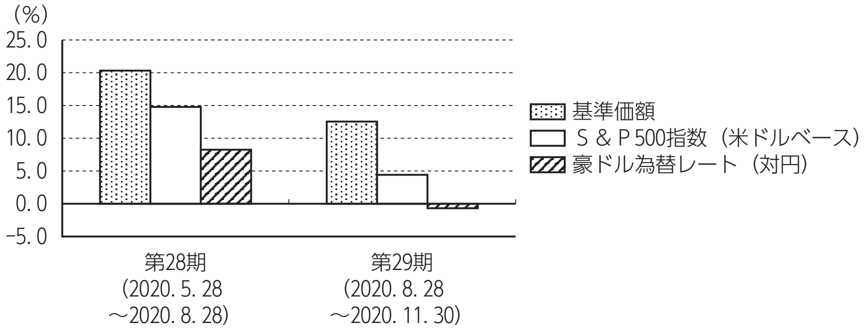
　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。なお、第28期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第28期 2020年５月29日～2020年８月28日	第29期 2020年８月29日～2020年11月30日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**—**	**400**
対基準価額比率	(%)	—	3.43
当期の収益	(円)	—	400
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	952	1,654

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	15.11円	✓　18.74円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓　1,084.00
（c）収益調整金	470.31	470.65
（d）分配準備積立金	466.76	481.54
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	952.19	2,054.94
（f）分配金	0.00	400.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	952.19	1,654.94

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

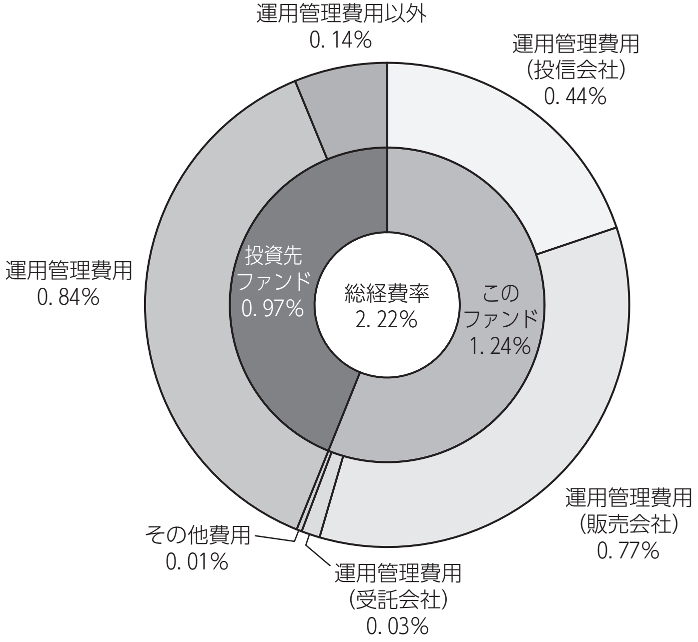
項目	第28期～第29期 (2020. 5. 29～2020. 11. 30)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	62円	0. 631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は9, 881円です。**
(投信会社)	(22)	(0. 224)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0. 392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	63	0. 635	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.22％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.22％
①このファンドの費用の比率	1.24％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14％

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年５月29日から2020年11月30日まで)

決　算　期	第　28　期　～　第　29　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
外国 (邦貨建)	千口 34.5362	千円 4,399	千口 309.60156	千円 39,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年５月29日から2020年11月30日まで)

第　28　期　～　第　29　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	千口 31.47312	千円 4,000	円 127	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	千口 309.60156	千円 39,000	円 125

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　29　期　末		
	口　数	評価額	比　率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	千口 812.80907	千円 115,929	% 98.4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第27期末	第　29　期　末	
	口　　数	口　　数	評 価 額
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	千口 200	千口 200	千円 201

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項　　目	第　29　期　末	
	評　価　額	比　　率
投資信託受益証券	千円 115,929	% 94.8
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	201	0.2
コール・ローン等、その他	6,183	5.0
投資信託財産総額	122,314	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年８月28日）、（2020年11月30日）現在

項　　　目	第28期末	第29期末
（A）資産	**133,952,524円**	**122,314,358円**
コール・ローン等	5,739,032	6,183,965
投資信託受益証券（評価額）	128,012,390	115,929,332
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	201,102	201,061
（B）負債	**384,449**	**4,550,221**
未払収益分配金	―	4,183,046
未払信託報酬	381,948	362,303
その他未払費用	2,501	4,872
（C）純資産総額（A－B）	**133,568,075**	**117,764,137**
元本	128,903,331	104,576,163
次期繰越損益金	4,664,744	13,187,974
（D）受益権総口数	**128,903,331口**	**104,576,163口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10,362円**	**11,261円**

＊第27期末における元本額は133,397,565円、当作成期間（第28期～第29期）中における追加設定元本額は136,669円、同解約元本額は28,958,071円です。
＊第29期末の計算口数当りの純資産額は11,261円です。

■損益の状況

第28期　自 2020年５月29日　至 2020年８月28日
第29期　自 2020年８月29日　至 2020年11月30日

項　　　目	第28期	第29期
（A）配当等収益	**198,196円**	**201,253円**
受取配当金	198,352	201,441
受取利息	12	16
支払利息	△ 168	△ 204
（B）有価証券売買損益	**22,742,050**	**13,748,493**
売買益	23,028,278	14,112,646
売買損	△ 286,228	△ 364,153
（C）信託報酬等	**△ 384,455**	**△ 364,680**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**22,555,791**	**13,585,066**
（E）前期繰越損益金	**△ 18,876,455**	**2,982,872**
（F）追加信託差損益金	**985,408**	**803,082**
（配当等相当額）	（ 6,062,471）	（ 4,921,903）
（売買損益相当額）	（△ 5,077,063）	（△ 4,118,821）
（G）合計（D＋E＋F）	**4,664,744**	**17,371,020**
（H）収益分配金	**―**	**△ 4,183,046**
次期繰越損益金（G＋H）	**4,664,744**	**13,187,974**
追加信託差損益金	985,408	803,082
（配当等相当額）	（ 6,062,471）	（ 4,921,903）
（売買損益相当額）	（△ 5,077,063）	（△ 4,118,821）
分配準備積立金	6,211,600	12,384,892
繰越損益金	△ 2,532,264	―

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　　目	第28期	第29期
（ａ）経費控除後の配当等収益	194,878円	195,990円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0	11,336,146
（ｃ）収益調整金	6,062,471	4,921,903
（ｄ）分配準備積立金	6,016,722	5,035,802
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	12,274,071	21,489,841
（ｆ）分配金	0	4,183,046
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	12,274,071	17,306,795
（ｈ）受益権総口数	128,903,331口	104,576,163口

収益分配金のお知らせ	
1万口当り分配金	第29期
	400円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・レアル・コース

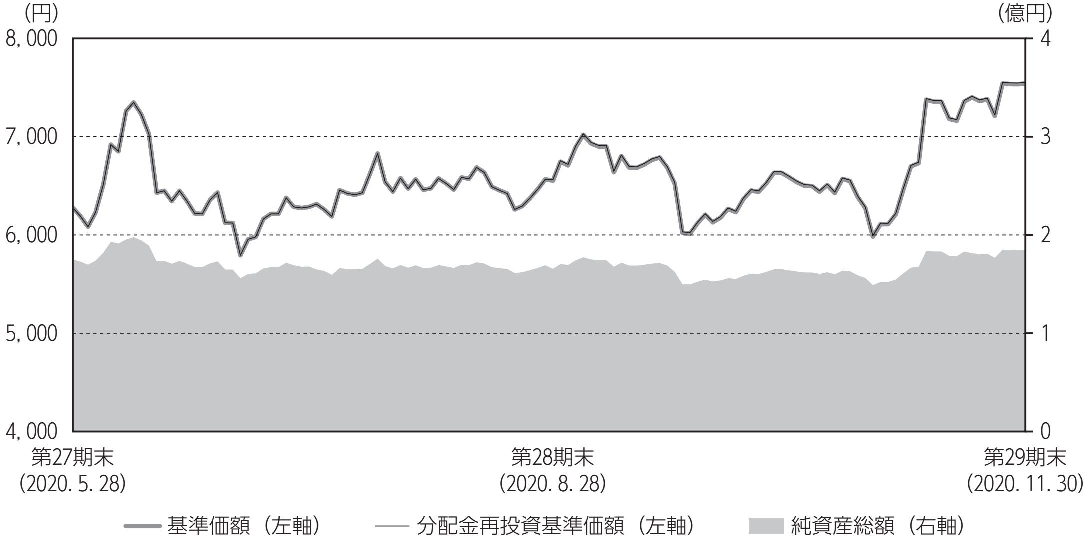
最近10期の運用実績

決　算　期	基　準　価　額			S＆P500指数(米ドルベース)		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
20期末(2018年８月28日)	8,814	90	△ 1.8	17,598	6.4	27.24	△ 9.1	—	98.5	409
21期末(2018年11月28日)	8,513	60	△ 2.7	16,294	△ 7.4	29.35	7.7	—	98.4	341
22期末(2019年２月28日)	9,326	50	10.1	16,964	4.1	29.72	1.3	—	97.7	323
23期末(2019年５月28日)	8,322	50	△10.2	17,169	1.2	27.11	△ 8.8	—	97.4	276
24期末(2019年８月28日)	7,711	40	△ 6.9	17,430	1.5	25.59	△ 5.6	—	97.1	236
25期末(2019年11月28日)	8,788	40	14.5	19,159	9.9	25.68	0.4	—	98.6	292
26期末(2020年２月28日)	7,926	20	△ 9.6	18,096	△ 5.5	24.36	△ 5.1	—	98.5	231
27期末(2020年５月28日)	6,278	30	△20.4	18,445	1.9	20.46	△16.0	—	98.4	175
28期末(2020年８月28日)	6,554	10	4.6	21,169	14.8	19.15	△ 6.4	—	98.9	165
29期末(2020年11月30日)	7,542	0	15.1	22,103	4.4	19.46	1.6	—	98.9	184

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注５）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注６）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注７）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：6, 278円
第29期末：7, 542円（既払分配金10円）
騰 落 率：20. 3％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数(米ドルベース)		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第28期	(期首)2020年5月28日	6,278	—	18,445	—	20.46	—	—	98.4
	5月末	6,193	△1.4	18,406	△0.2	19.87	△2.9	—	98.3
	6月末	5,956	△5.1	18,549	0.6	19.93	△2.6	—	98.8
	7月末	6,472	3.1	19,721	6.9	20.28	△0.9	—	98.5
	(期末)2020年8月28日	6,564	4.6	21,169	14.8	19.15	△6.4	—	98.9
第29期	(期首)2020年8月28日	6,554	—	21,169	—	19.15	—	—	98.9
	8月末	6,746	2.9	21,312	0.7	19.55	2.1	—	99.0
	9月末	6,128	△6.5	20,263	△4.3	18.77	△2.0	—	98.6
	10月末	6,111	△6.8	20,109	△5.0	18.09	△5.5	—	98.7
	(期末)2020年11月30日	7,542	15.1	22,103	4.4	19.46	1.6	—	98.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

　米国株式市況は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったことや、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

　ブラジル・レアル対円為替相場は、当作成期首から2020年６月中旬にかけては、大きく売られた巻き戻しなどから、強含んで推移しました。しかしその後は、ブラジルにおいて新型コロナウイルスの感染拡大ペースが加速したことや景気対策に伴う財政悪化懸念、政治リスクなどから、上値の重い展開となりました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が和らいだことや新型コロナウイルスのワクチン開発期待などからリスク選好ムードが高まり、レアルは上昇したものの、上昇幅は限定的となりました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行が継続的に利下げを実施し、ブラジルの短期金利は低下基調となりました。
米国では、政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

　今後も、ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

　※ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・

トラストー ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

　ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

　当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

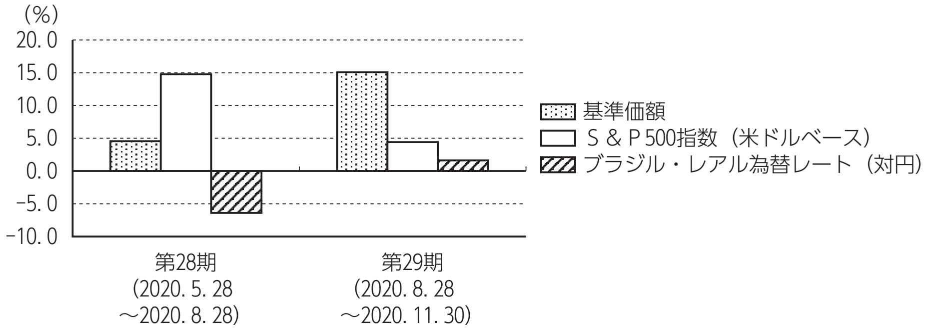
　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。なお、第29期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		第28期 2020年５月29日 ～2020年８月28日	第29期 2020年８月29日 ～2020年11月30日
当期分配金（税込み）	**(円)**	**10**	**―**
対基準価額比率	(%)	0.15	―
当期の収益	(円)	10	―
当期の収益以外	(円)	―	―
翌期繰越分配対象額	(円)	3,108	3,143

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　　目		第28期	第29期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓	29.13円	34.71円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益		0.00	0.00
（ｃ）収益調整金		2,086.77	2,087.43
（ｄ）分配準備積立金		1,002.39	1,020.86
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）		3,118.30	3,143.01
（ｆ）分配金		10.00	0.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）		3,108.30	3,143.01

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

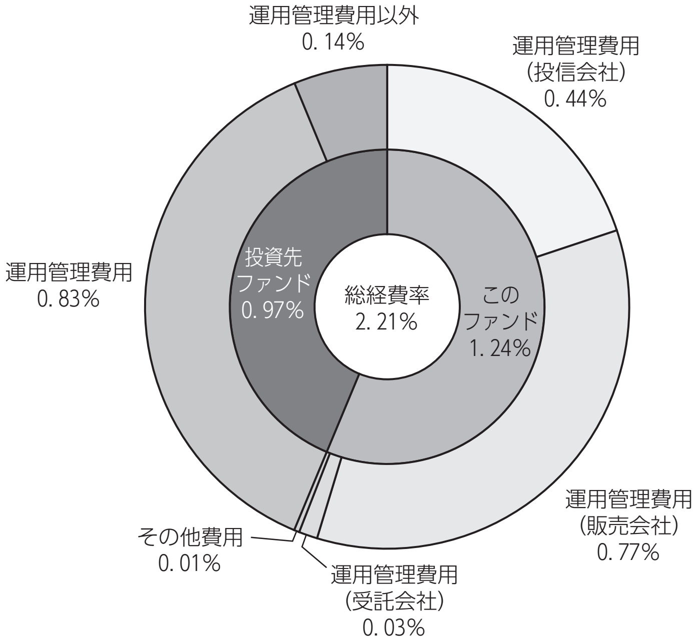
項　　目	第28期～第29期 (2020. 5. 29～2020. 11. 30) 金　額	比　率	項　目　の　概　要
信　託　報　酬	41円	0. 630％	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は6, 573円です。**
（投 信 会 社）	(15)	(0. 224)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(26)	(0. 392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	42	0. 634	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.21％
①このファンドの費用の比率	1.24％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14％

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年5月29日から2020年11月30日まで)

決算期	第28期～第29期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	25.32486	1,679	364.69337	23,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年5月29日から2020年11月30日まで)

第28期～第29期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS（ケイマン諸島）	364.69337	23,000	63

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	2,554.96638	182,927	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第27期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	300	300

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	182,927	98.6
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300	0.2
コール・ローン等、その他	2,242	1.2
投資信託財産総額	185,470	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年８月28日）、（2020年11月30日）現在

項　　目	第28期末	第29期末
（A）資産	**172,617,973円**	**185,470,755円**
コール・ローン等	2,524,120	2,242,255
投資信託受益証券（評価額）	163,793,221	182,927,927
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	300,633	300,573
未収入金	5,999,999	—
（B）負債	**7,070,048**	**538,682**
未払金	3,000,000	—
未払収益分配金	252,597	—
未払解約金	3,283,000	—
未払信託報酬	530,958	531,695
その他未払費用	3,493	6,987
（C）純資産総額（A－B）	**165,547,925**	**184,932,073**
元本	252,597,313	245,189,506
次期繰越損益金	△ 87,049,388	△ 60,257,433
（D）受益権総口数	**252,597,313口**	**245,189,506口**
1万口当り基準価額（C／D）	**6,554円**	**7,542円**

＊第27期末における元本額は278,924,635円、当作成期間（第28期～第29期）中における追加設定元本額は496,283円、同解約元本額は34,231,412円です。
＊第29期末の計算口数当りの純資産額は7,542円です。
＊第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は60,257,433円です。

■損益の状況

第28期　自 2020年５月29日　至 2020年８月28日
第29期　自 2020年８月29日　至 2020年11月30日

項　　目	第28期	第29期
（A）配当等収益	**790,390円**	**870,077円**
受取配当金	790,630	870,245
受取利息	18	6
支払利息	△ 258	△ 174
（B）有価証券売買損益	**6,956,137**	**23,903,005**
売買益	7,641,470	24,251,576
売買損	△ 685,333	△ 348,571
（C）信託報酬等	**△ 534,472**	**△ 535,195**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**7,212,055**	**24,237,887**
（E）前期繰越損益金	**△ 93,631,893**	**△ 84,075,661**
（F）追加信託差損益金	**△ 376,953**	**△ 419,659**
（配当等相当額）	(52,711,316)	(51,181,785)
（売買損益相当額）	(△ 53,088,269)	(△ 51,601,444)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 86,796,791**	**△ 60,257,433**
（H）収益分配金	**△ 252,597**	—
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 87,049,388**	**△ 60,257,433**
追加信託差損益金	△ 376,953	△ 419,659
（配当等相当額）	(52,711,316)	(51,181,785)
（売買損益相当額）	(△ 53,088,269)	(△ 51,601,444)
分配準備積立金	25,803,577	25,881,755
繰越損益金	△ 112,476,012	△ 85,719,529

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	735,852円	851,272円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	52,711,316	51,181,785
（d）分配準備積立金	25,320,322	25,030,483
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	78,767,490	77,063,540
（f）分配金	252,597	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	78,514,893	77,063,540
（h）受益権総口数	252,597,313口	245,189,506口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ	
1　万　口　当　り　分　配　金	第28期
	10円

● 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース

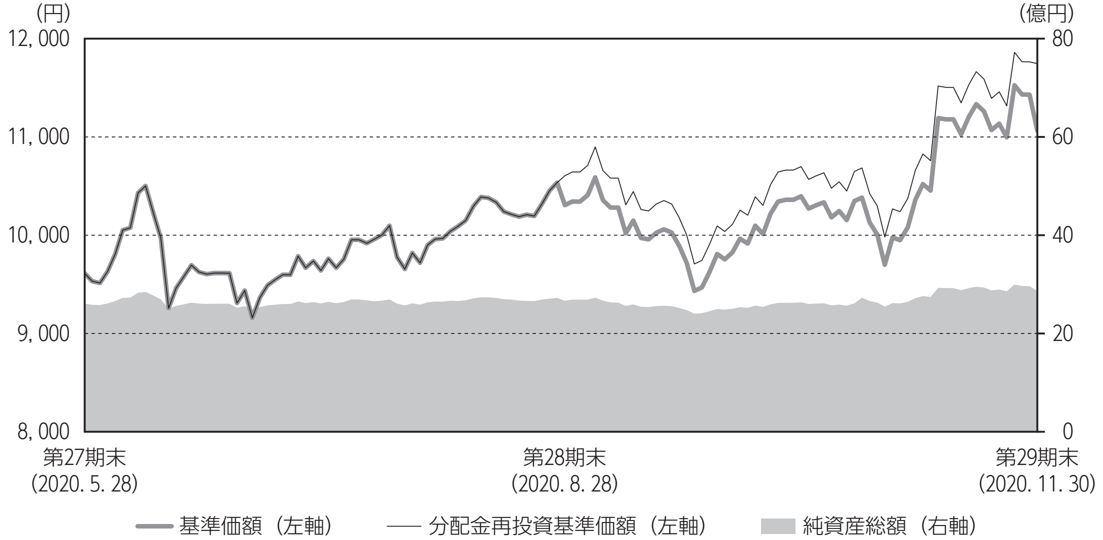
最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配金	期中騰落率	S＆P500指数(円換算) (参考指数)	期中騰落率	公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
20期末(2018年8月28日)	10,728	300	7.8	20,033	8.1	—	98.1	4,708
21期末(2018年11月28日)	9,904	0	△ 7.7	18,976	△ 5.3	—	95.9	4,264
22期末(2019年2月28日)	10,471	0	5.7	19,249	1.4	—	95.7	4,100
23期末(2019年5月28日)	10,108	0	△ 3.5	19,253	0.0	—	95.3	3,480
24期末(2019年8月28日)	9,646	0	△ 4.6	18,861	△ 2.0	—	95.9	3,091
25期末(2019年11月28日)	10,852	350	16.1	21,449	13.7	—	98.1	3,230
26期末(2020年2月28日)	10,008	300	△ 5.0	20,267	△ 5.5	—	97.1	2,799
27期末(2020年5月28日)	9,612	0	△ 4.0	20,372	0.5	—	99.0	2,605
28期末(2020年8月28日)	10,306	300	10.3	23,108	13.4	—	99.0	2,665
29期末(2020年11月30日)	11,064	350	10.8	23,501	1.7	—	98.3	2,868

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）S＆P500指数（円換算）は、S＆P500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLC が有しています。S＆P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：　9,612円
第29期末：11,064円（既払分配金650円）
騰 落 率：22.2％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

　米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基　準　価　額		S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第28期	（期首）2020年５月28日	9,612	—	20,372	—	—	99.0
	５月末	9,531	△　0.8	20,256	△　0.6	—	99.0
	６月末	9,368	△　2.5	20,453	0.4	—	98.8
	７月末	9,718	1.1	21,112	3.6	—	98.8
	（期末）2020年８月28日	10,606	10.3	23,108	13.4	—	99.0
第29期	（期首）2020年８月28日	10,306	—	23,108	—	—	99.0
	８月末	10,343	0.4	22,980	△　0.6	—	98.5
	９月末	9,754	△　5.4	21,941	△　5.1	—	99.5
	10月末	9,977	△　3.2	21,527	△　6.8	—	99.0
	（期末）2020年11月30日	11,414	10.8	23,501	1.7	—	98.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■**米国株式市況**

米国株式市況は上昇しました。

　米国株式市況は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったことや、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■**為替相場**

米ドルは対円で下落（円高）しました。

　米ドル対円為替相場は、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや新型コロナウイルスのワクチン開発期待の高まりなどから、米ドル円が一時上昇（円安）する局面もあったものの、米国の金融緩和が長期化するとの思惑や米国の実質金利が低下したことなどから、下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■**当ファンド**

　今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

　※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

■**ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）**

　ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して

割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

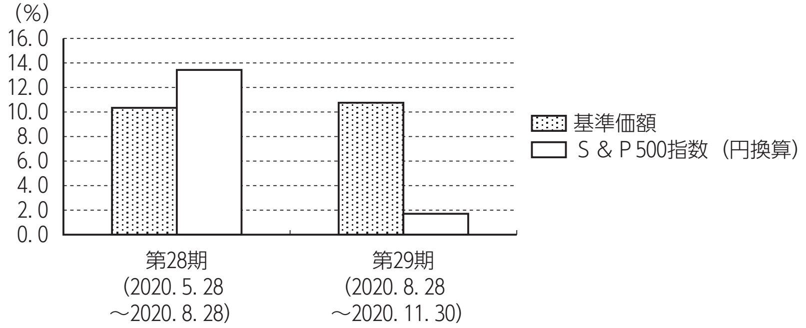
ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			第28期 2020年５月29日 ～2020年８月28日	第29期 2020年８月29日 ～2020年11月30日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**300**	**350**
	対基準価額比率	(%)	2.83	3.07
	当期の収益	(円)	63	350
	当期の収益以外	(円)	236	—
翌期繰越分配対象額		(円)	438	1,195

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 19.08円	✓ 21.22円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 44.46	✓ 1,085.48
（c）収益調整金	✓ 592.69	438.36
（d）分配準備積立金	✓ 82.12	0.00
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	738.36	1,545.07
（f）分配金	300.00	350.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	438.36	1,195.07

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

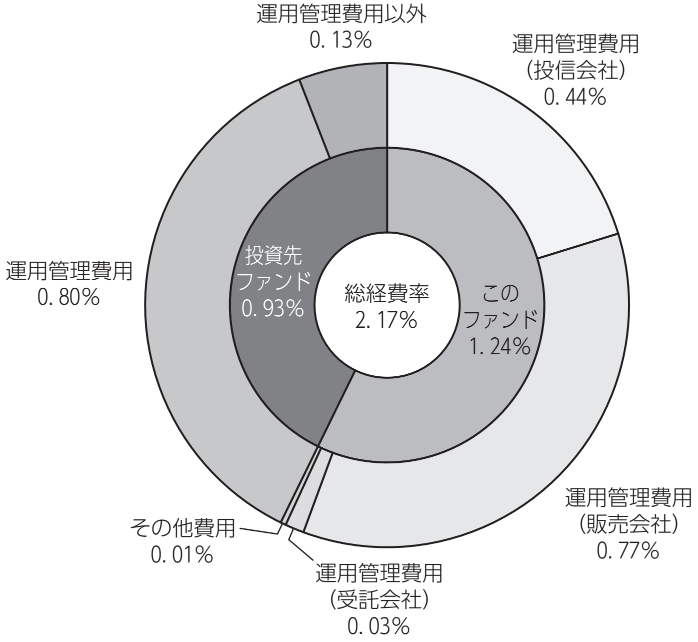
項　目	第28期～第29期 (2020. 5. 29～2020. 11. 30)		項 目 の 概 要
	金　額	比　率	
信 託 報 酬	64円	0. 631%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 120円です。**
（投 信 会 社）	(23)	(0. 224)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(40)	(0. 392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	64	0. 635	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.17％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.17％
①このファンドの費用の比率	1.24％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13％

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

決算期	第28期～第29期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	668.64247	116,809	2,409.21389	436,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

第28期～第29期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	610.08794	106,000	173	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	2,409.21389	436,000	180

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	14,274.59811	2,818,319	98.3

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第27期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1,999	1,999	2,001

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,818,319	94.9
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,001	0.1
コール・ローン等、その他	150,537	5.0
投資信託財産総額	2,970,858	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年８月28日)、(2020年11月30日)現在

項　　　目	第28期末	第29期末
(A)資産	**2,756,466,194円**	**2,970,858,121円**
コール・ローン等	114,509,861	150,537,393
投資信託受益証券（評価額）	2,639,954,757	2,818,319,552
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	2,001,576	2,001,176
(B)負債	**90,878,675**	**102,655,639**
未払収益分配金	77,594,261	90,731,957
未払解約金	4,990,928	3,324,868
未払信託報酬	8,238,611	8,487,409
その他未払費用	54,875	111,405
(C)純資産総額（A－B）	**2,665,587,519**	**2,868,202,482**
元本	2,586,475,397	2,592,341,644
次期繰越損益金	79,112,122	275,860,838
(D)受益権総口数	**2,586,475,397口**	**2,592,341,644口**
1万口当り基準価額（C／D）	**10,306円**	**11,064円**

＊第27期末における元本額は2,710,651,900円、当作成期間（第28期～第29期）中における追加設定元本額は123,932,200円、同解約元本額は242,242,456円です。
＊第29期末の計算口数当りの純資産額は11,064円です。

■損益の状況

第28期　自 2020年５月29日　至 2020年８月28日
第29期　自 2020年８月29日　至 2020年11月30日

項　　　目	第28期	第29期
(A)配当等収益	**5,095,212円**	**5,667,177円**
受取配当金	5,099,003	5,670,245
受取利息	246	157
支払利息	△　4,037	△　3,225
(B)有価証券売買損益	**260,494,277**	**289,773,664**
売買益	266,589,141	293,127,914
売買損	△　6,094,864	△　3,354,250
(C)信託報酬等	**△　8,293,702**	**△　8,544,059**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**257,295,787**	**286,896,782**
(E)前期繰越損益金	**△　219,617,970**	**―**
(F)追加信託差損益金	**119,028,566**	**79,696,013**
(配当等相当額)	(　153,299,551)	(　113,640,420)
(売買損益相当額)	(△　34,270,985)	(△　33,944,407)
(G)合計（D＋E＋F）	**156,706,383**	**366,592,795**
(H)収益分配金	**△　77,594,261**	**△　90,731,957**
次期繰越損益金（G＋H）	**79,112,122**	**275,860,838**
追加信託差損益金	79,112,122	79,696,013
(配当等相当額)	(　113,383,107)	(　113,640,420)
(売買損益相当額)	(△　34,270,985)	(△　33,944,407)
分配準備積立金	―	196,164,825

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　　目	第28期	第29期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	4,935,761円	5,502,926円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	11,501,644	281,393,856
(ｃ) 収益調整金	153,299,551	113,640,420
(ｄ) 分配準備積立金	21,240,412	0
(ｅ) 当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	190,977,368	400,537,202
(ｆ) 分配金	77,594,261	90,731,957
(ｇ) 翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	113,383,107	309,805,245
(ｈ) 受益権総口数	2,586,475,397口	2,592,341,644口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第28期	第29期
	300円	350円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクト・コース

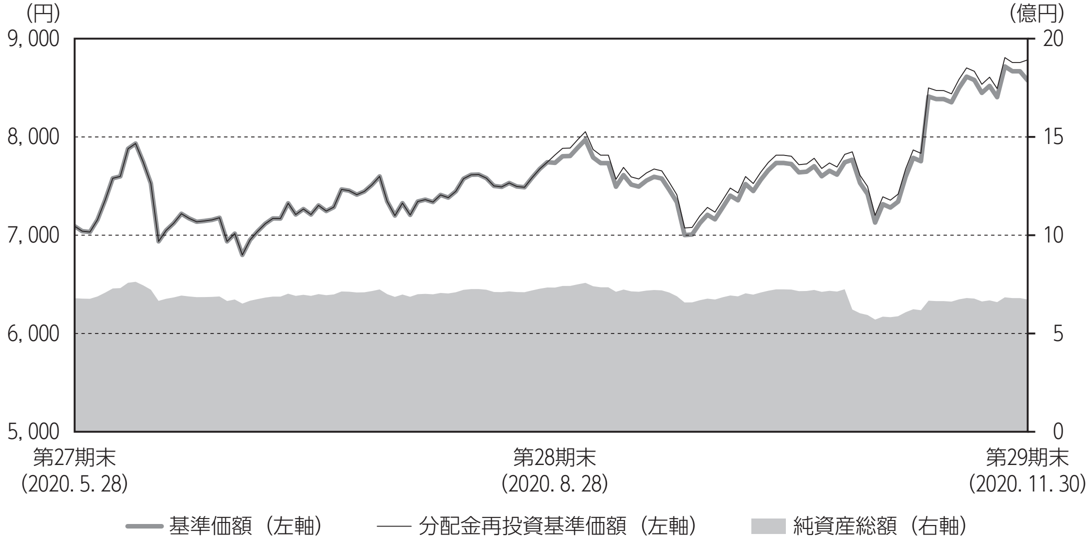
最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
20期末(2018年8月28日)	8,264	140	1.2	17,598	6.4	―	98.8	1,168
21期末(2018年11月28日)	7,700	140	△ 5.1	16,294	△ 7.4	―	98.7	1,059
22期末(2019年2月28日)	8,302	140	9.6	16,964	4.1	―	98.8	1,048
23期末(2019年5月28日)	7,827	150	△ 3.9	17,169	1.2	―	98.7	951
24期末(2019年8月28日)	7,405	140	△ 3.6	17,430	1.5	―	98.2	799
25期末(2019年11月28日)	8,689	120	19.0	19,159	9.9	―	98.8	896
26期末(2020年2月28日)	8,106	80	△ 5.8	18,096	△ 5.5	―	97.7	799
27期末(2020年5月28日)	7,091	120	△ 11.0	18,445	1.9	―	98.2	679
28期末(2020年8月28日)	7,737	80	10.2	21,169	14.8	―	99.0	733
29期末(2020年11月30日)	8,575	120	12.4	22,103	4.4	―	99.0	672

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：7, 091円
第29期末：8, 575円（既払分配金200円）
騰 落 率：23. 9％（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年　月　日	基　準　価　額		S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第28期	（期首）2020年5月28日	7,091	―	18,445	―	―	98.2
	5月末	7,041	△　0.7	18,406	△　0.2	―	97.8
	6月末	6,952	△　2.0	18,549	0.6	―	98.2
	7月末	7,206	1.6	19,721	6.9	―	98.9
	（期末）2020年8月28日	7,817	10.2	21,169	14.8	―	99.0
第29期	（期首）2020年8月28日	7,737	―	21,169	―	―	99.0
	8月末	7,804	0.9	21,312	0.7	―	98.8
	9月末	7,161	△　7.4	20,263	△　4.3	―	99.0
	10月末	7,315	△　5.5	20,109	△　5.0	―	99.2
	（期末）2020年11月30日	8,695	12.4	22,103	4.4	―	99.0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

　米国株式市況は、当作成期首から2020年８月下旬にかけて、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったことや、ロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちな動きとなりました。

　当作成期首から2020年６月前半にかけては、世界的な経済活動の再開期待や金融緩和の長期化観測から、市場のリスク選好度が強まったことにより、選定通貨は対円でおおむね上昇（円安）しました。その後は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が高まり、選定通貨は対円でおおむね下落（円高）する動きとなりましたが、11月以降は、ワクチンに高い有効性が認められたとの報道を受けて、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。

　当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、トルコ・リラは対円で下落しました。また、インドネシア・ルピア、コロンビア・ペソは対円でおおむね横ばいとなりました。一方で、南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、中国・人民元、ルーマニア・レイは対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

　選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

　米国では政策金利の誘導目標レンジを0. 00～0. 25％で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて　（2020. 5. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

当ファンドは、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、

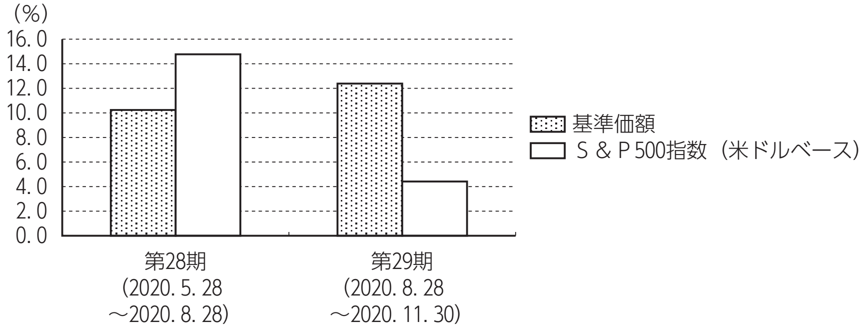
企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　目		第28期 2020年５月29日 ～2020年８月28日	第29期 2020年８月29日 ～2020年11月30日
当期分配金（税込み）	**（円）**	**80**	**120**
対基準価額比率	（％）	1.02	1.38
当期の収益	（円）	80	120
当期の収益以外	（円）	―	―
翌期繰越分配対象額	（円）	2,381	2,401

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　目	第28期	第29期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓　99.29円	✓　140.18円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	247.95	253.39
（ｄ）分配準備積立金	2,114.23	2,128.09
（ｅ）当期分配対象額（ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ）	2,461.48	2,521.67
（ｆ）分配金	80.00	120.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（ｅ－ｆ）	2,381.48	2,401.67

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

　今後も、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

　ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

　大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

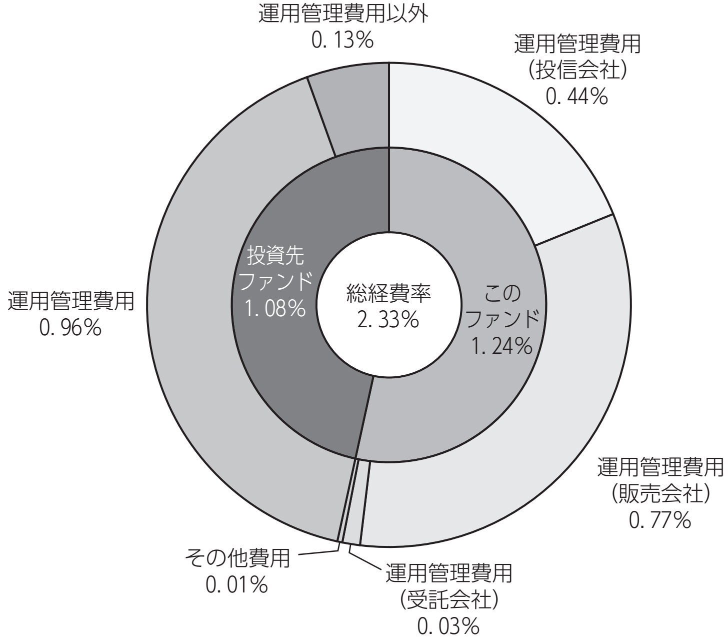
項　　目	第28期～第29期 (2020. 5. 29～2020. 11. 30)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	48円	0. 630%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は7, 553円です。**
(投 信 会 社)	(17)	(0. 224)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0. 392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ　の　他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　　計	48	0. 634	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.33%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.96%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

決算期	第28期～第29期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	276.41057	21,140	2,011.12512	150,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

第28期～第29期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	2,011.12512	150,000	74

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第29期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券			
（ケイマン諸島）			
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	8,121.17683	665,985	99.0

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第27期末	第29期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	505	505	506

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	665,985	97.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	506	0.1
コール・ローン等、その他	17,858	2.6
投資信託財産総額	684,349	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年８月28日）、（2020年11月30日）現在

項　　　目	第28期末	第29期末
（A）資産	**743,270,205円**	**684,349,887円**
コール・ローン等	16,459,231	17,858,255
投資信託受益証券（評価額）	726,304,467	665,985,227
ダイワ・マネーストック・マザーファンド（評価額）	506,507	506,405
（B）負債	**9,784,283**	**11,626,987**
未払収益分配金	7,584,081	9,414,090
未払信託報酬	2,185,668	2,183,851
その他未払費用	14,534	29,046
（C）純資産総額（A－B）	**733,485,922**	**672,722,900**
元本	948,010,201	784,507,568
次期繰越損益金	△ 214,524,279	△ 111,784,668
（D）受益権総口数	**948,010,201口**	**784,507,568口**
1万口当り基準価額（C／D）	**7,737円**	**8,575円**

＊第27期末における元本額は957,932,760円、当作成期間（第28期～第29期）中における追加設定元本額は6,325,128円、同解約元本額は179,750,320円です。
＊第29期末の計算口数当りの純資産額は8,575円です。
＊第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は111,784,668円です。

■損益の状況

第28期　自 2020年５月29日　至 2020年８月28日
第29期　自 2020年８月29日　至 2020年11月30日

項　　　目	第28期	第29期
（A）配当等収益	**9,714,644円**	**11,319,167円**
受取配当金	9,715,995	11,319,974
受取利息	63	132
支払利息	△ 1,414	△ 939
（B）有価証券売買損益	**61,277,461**	**66,035,125**
売買益	61,765,624	66,965,011
売買損	△ 488,163	△ 929,886
（C）信託報酬等	**△ 2,200,334**	**△ 2,198,411**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**68,791,771**	**75,155,881**
（E）前期繰越損益金	**△ 266,266,518**	**△ 169,260,400**
（F）追加信託差損益金	**△ 9,465,451**	**△ 8,266,059**
（配当等相当額）	(23,506,131)	(19,879,212)
（売買損益相当額）	(△ 32,971,582)	(△ 28,145,271)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 206,940,198**	**△ 102,370,578**
（H）収益分配金	**△ 7,584,081**	**△ 9,414,090**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 214,524,279**	**△ 111,784,668**
追加信託差損益金	△ 9,465,451	△ 8,266,059
（配当等相当額）	(23,506,131)	(19,879,212)
（売買損益相当額）	(△ 32,971,582)	(△ 28,145,271)
分配準備積立金	202,260,853	168,534,301
繰越損益金	△ 407,319,681	△ 272,052,910

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　　目	第28期	第29期
（a）経費控除後の配当等収益	9,413,591円	10,997,502円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
（c）収益調整金	23,506,131	19,879,212
（d）分配準備積立金	200,431,343	166,950,889
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	233,351,065	197,827,603
（f）分配金	7,584,081	9,414,090
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	225,766,984	188,413,513
（h）受益権総口数	948,010,201口	784,507,568口

収益分配金のお知らせ		
1万口当り分配金	第28期	第29期
	80円	120円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス　ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト－ダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン　日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年11月30日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表

2020年５月29日

資産		
投資資産の評価額（簿価 $31,309,568）	$	34,642,908
現金		12
外国為替先渡取引による評価益		273,667
未収：		
配当		12,735
資産合計		34,929,322
負債		
外国為替先渡取引による評価損		19,365
未払：		
専門家報酬		53,000
運用会社報酬		30,717
会計および管理会社報酬		15,061
保管会社報酬		8,477
名義書換代理人報酬		3,404
登録料		1,108
為替運用会社報酬		854
受託会社報酬		691
為替取引執行会社報酬		621
その他負債		209
負債合計		133,507
純資産	$	34,795,815
クラス別純資産		
豪ドル・クラス	$	1,054,023
ブラジル・レアル・クラス		1,549,202
通貨セレクト・クラス		6,137,476
日本円・クラス		2,358,752
米ドル・クラス		23,696,362
クラス別純資産合計	$	34,795,815

発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		1,087,874
ブラジル・レアル・クラス		2,894,335
通貨セレクト・クラス		9,855,891
日本円・クラス		1,798,803
米ドル・クラス		16,015,170
受益証券1口当り純資産額		
豪ドル・クラス	$	0.969
ブラジル・レアル・クラス	$	0.535
通貨セレクト・クラス	$	0.623
日本円・クラス	$	1.311
米ドル・クラス	$	1.480

損益計算書

2020年5月29日に終了した年度

投資収益		
配当収益（源泉税 $122,450控除後）	$	285,716
その他収益		17,630
投資収益合計		303,346
費用		
運用会社報酬		239,536
専門家報酬		53,142
会計および管理会社報酬		44,937
保管会社報酬		23,847
受託会社報酬		16,395
為替運用会社報酬		13,079
名義書換代理人報酬		9,030
登録料		1,799
為替取引執行会社報酬		1,370
費用合計		403,135
投資損益		(99,789)
実現損益および評価損益：		
実現損益：		
証券投資		1,848,628
外国為替取引および外国為替先渡取引		(924,214)
実現損益		924,414
評価損益の変動の内訳：		
証券投資		942,933
外国為替取引および外国為替先渡取引		87,882
評価損益の変動		1,030,815
実現損益および評価損益		1,955,229
運用による純資産の増減	$	1,855,440

（米ドル建て）

投資明細表

2020年５月29日

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
	普通株（95.8%）		
	英国（3.2%）		
	ヘルスケア製品（3.2%）		
20,594	LivaNova PLC		$ 1,101,573
	英国合計（簿価 $1,640,897）		1,101,573
	米国（92.6%）		
	自動車部品（3.5%）		
11,445	Lear Corp.		1,213,742
	銀行（6.2%）		
46,755	Bank of America Corp.		1,127,731
21,850	Citigroup, Inc.		1,046,833
			2,174,564
	バイオテクノロジー（2.9%）		
1,620	Regeneron Pharmaceuticals, Inc.		992,752
	商業サービス（7.6%）		
13,185	ManpowerGroup, Inc.		911,611
6,458	Moody's Corp.		1,726,934
			2,638,545
	総合金融サービス（3.3%）		
31,695	Charles Schwab Corp.		1,138,167
	電機（5.1%）		
20,000	Agilent Technologies, Inc.		1,762,800
	食品（3.2%）		
12,600	Post Holdings, Inc.		1,096,956
	ヘルスケア製品（2.8%）		
46,450	Envista Holdings Corp.		981,953
	ヘルスケアサービス（3.4%）		
11,050	HCA Healthcare, Inc.		1,181,245
	保険（4.1%）		
47,360	American International Group, Inc.		1,423,642
	インターネット（26.9%）		
2,235	Alphabet, Inc. Class C		3,193,636
1,062	Booking Holdings, Inc.		1,741,064
6,640	Facebook, Inc. Class A		1,494,598
3,545	Netflix, Inc.		1,487,943
71,520	Pinterest, Inc. Class A		1,451,141
			9,368,382
	宿泊施設（5.5%）		
24,314	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		1,928,343
	メディア（7.8%）		
3,464	Charter Communications, Inc. Class A		1,884,416
20,650	Comcast Corp. Class A		817,740
			2,702,156

株数	有価証券の明細	対純資産比	評価額
	石油・ガスサービス（0.8%）		
23,395	National Oilwell Varco, Inc.		291,736
	不動産（5.5%）		
43,445	CBRE Group, Inc. Class A		1,910,711
	ソフトウェア（4.0%）		
7,665	Workday, Inc. Class A		1,405,991
	米国合計（簿価 $28,339,021）		32,211,685
	普通株合計（簿価 $29,979,918）		**33,313,258**
元本	**短期運用（3.8%）**		
	英国（3.8%）		
	定期預金 （3.8%）		
	Barclays Bank		
$ 1,329,650	0.01% due 2020/6/1		1,329,650
			1,329,650
	英国合計（簿価 $1,329,650）		1,329,650
	短期運用合計（簿価 $1,329,650）		**1,329,650**
	投資総額（簿価 $31,309,568）	**99.6%**	**$ 34,642,908**
	負債を超過する現金およびその他の資産	**0.4%**	**152,907**
	純資産	**100.0%**	**$ 34,795,815**

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2020年５月29日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＡＵＤ	Citibank N.A.	1,603,053	2020/6/15	ＵＳＤ	1,046,912	$ 17,206	$ -	$ 17,206

2020年５月29日現在のブラジル・レアル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＢＲＬ	Citibank N.A.	8,488,380	2020/6/15	ＵＳＤ	1,458,261	$ 104,117	$ -	$ 104,117

2020年５月29日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＩＤＲ	Citibank N.A.	12,634,315,312	2020/6/15	ＵＳＤ	850,599	$ 12,658	$ –	$ 12,658
ＩＮＲ	Citibank N.A.	67,942,277	2020/6/15	ＵＳＤ	899,470	–	(2,076)	(2,076)
ＲＯＮ	Citibank N.A.	4,032,557	2020/6/15	ＵＳＤ	906,022	19,717	–	19,717
ＲＵＢ	Citibank N.A.	60,605,820	2020/6/15	ＵＳＤ	826,391	29,961	–	29,961
ＴＲＹ	Citibank N.A.	11,858,323	2020/6/15	ＵＳＤ	1,676,255	57,012	–	57,012
ＺＡＲ	Citibank N.A.	16,029,769	2020/6/15	ＵＳＤ	875,071	32,996	–	32,996
						$ 152,344	$ (2,076)	$ 150,268

2020年５月29日現在の日本円・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＪＰＹ	Citibank N. A.	252, 257, 236	2020/6/15	ＵＳＤ	2, 359, 136	$ -	$ (17, 289)	$ (17, 289)

通貨の略称		
ＡＵＤ	-	豪ドル
ＢＲＬ	-	ブラジル・レアル
ＩＤＲ	-	インドネシア・ルピア
ＩＮＲ	-	インド・ルピー
ＪＰＹ	-	日本円
ＲＯＮ	-	ルーマニア・レウ
ＲＵＢ	-	ロシア・ルーブル
ＴＲＹ	-	トルコ・リラ
ＵＳＤ	-	米ドル
ＺＡＲ	-	南アフリカ・ランド

＜補足情報＞

　当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2019年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第29期の決算日（2020年11月30日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年５月29日～2020年11月30日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年11月30日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第10期（決算日　2019年12月９日）

（作成対象期間　2018年12月11日～2019年12月９日）

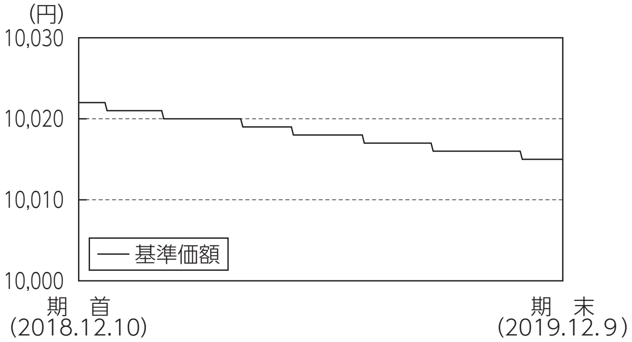
ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　　月　　日	基　準　価　額	騰　落　率	公　社　債 組　入　比　率
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	－	－
12月末	10,022	0.0	－
2019年１月末	10,021	△0.0	－
２月末	10,020	△0.0	－
３月末	10,020	△0.0	－
４月末	10,019	△0.0	－
５月末	10,018	△0.0	－
６月末	10,018	△0.0	－
７月末	10,017	△0.0	－
８月末	10,017	△0.0	－
９月末	10,016	△0.1	－
10月末	10,016	△0.1	－
11月末	10,015	△0.1	－
(期末)2019年12月９日	10,015	△0.1	－

（注１）騰落率は期首比。
（注２）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注３）当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円　期末：10,015円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（３カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■１万口当りの費用の明細

項　　目	当　期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	1
（その他）	(1)
合　　計	1

（注１）費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
（注２）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公　社　債

（2018年12月11日から2019年12月９日まで）

		買　付　額	売　付　額
		千円	千円
国内	国債証券	250,003	－ (250,000)

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）(　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公　社　債

（2018年12月11日から2019年12月９日まで）

当期			
買付		売付	
銘　柄	金　額	銘　柄	金　額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	250,003		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月９日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月９日現在

項目	当期末
(Ａ) 資産	**103,888,808,252円**
コール・ローン等	103,888,808,252
(Ｂ) 負債	**200,442,764**
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(Ｃ) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**103,688,365,488**
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(Ｄ) 受益権総口数	**103,532,314,258口**
１万口当り基準価額(Ｃ／Ｄ)	**10,015円**

＊期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　－インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）998円、ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド（毎月決算型）999円、新興国ソブリン・ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）999円、ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）3,985円、iFreeレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500　995,814円、iFreeレバレッジＮＡＳＤＡＱ100　29,943,109円、米国４資産リスク分散ファンド（年２回決算型）658,945円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－07　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2017－06　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10　997円、ダイワ米国投資法人債ファンド（部分為替ヘッジあり）2016－10　997円、先進国トータルリターン戦略ファンド（リスク抑制型／適格機関投資家専用）6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド（金利トレンド判断付き／適格機関投資家専用）179,433,743円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－186,241,301円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興４カ国不動産関連ファンド－成長の槌音（つちおと）－5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド（適格機関投資家専用）13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　豪ドル・コース（毎月分配型）595,106円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）987,373円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ　通貨セレクト・コース（毎月分配型）494,581円、ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）997円、ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり49,806円、＜奇数月定額払出型＞ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－100,588円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジあり（毎月分配型）399,083円、ダイワ先進国リートα　為替ヘッジなし（毎月分配型）99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　円ヘッジコース（毎月分配型）399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα　通貨セレクトコース（毎月分配型）99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジあり）1,091,429円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド（為替ヘッジなし）315,004円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイⅡ－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース505,900円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期　自2018年12月11日　至2019年12月９日

項　目	当　期
(A) 配当等収益	△　46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△　47,403,973
(B) その他費用	△　10,190,474
(C) 当期損益金(A＋B)	△　57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注１) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注２) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。